

2019年10月17日

川崎市長		福田紀彦	殿
川崎市まちづくり局	局長	岩田友利	殿
川崎市市民文化局	局長	向坂光浩	殿
教育委員会	教育長	小田嶋満	殿
環境局長	局長	斎藤浩二	殿

宮前区役所・市民館・図書館の移転に反対し鷺沼駅前再開発を考える会
共同代表：小久保善一・秋好賢一

鷺沼駅前再開発事業について住民説明会開催の申し入れ

川崎市は、市民が暮らしやすいまちづくりに取り組まれていることに敬意を表します。

さて、川崎市は2019年3月に「鷺沼駅周辺再編整備に伴う公共機能に関する基本方針」を策定しました。この策定は、移転先となる鷺沼駅前再開発の全体像についての具体的説明が一切ありませんでした。区役所・市民館・図書館が入るのはどのようなビルなのか、高さや規模などの情報をすべて隠したままでした。

また、補助金や負担金・区役所等公共施設の床購入にかかる費用（税金）がどれほどかかるかについても、具体的な説明がないまま、移転方針を策定しました。

移転による住民に与えるメリットのみが強調され、地域により生活不便が生じること等のデメリットの検討が一切されることなく、まさに移転ありきで、1年という短期間に策定したのです。

この間に市は、まちづくりフォーラム等を実施しましたが、これらの場に出された意見の反映もされることなく、住民周知10%のまま、市長の「総合的判断」によって決定されました。

パブリックコメントで17,829通もの多くの意見が出されたことに、「市は重く受け止める」とし、今後は住民周知を徹底する旨の答弁をされました。

鷺沼駅前再開発事業については、8月の環境影響評価方法書手続きの段階でようやく「概要」が示されましたが、146m37階建てと92m20階建て2棟の超高層ビルに区民は驚き、啞然としています。溝の口ノクテイビルの2.5倍、霞ヶ関ビルと同じ大規模のものです。

なんでこんなに大きなビルが必要なのですか。しかも70~80%はマンション、街区をつなぐデッキもなく、車両出入り口は、「左折イン左折アウト方式」で駅周辺は現在より大変な交通渋滞になり、歩行者の安全が危惧されます。超高層ビルによる圧迫感、日照、風害、テレビ電波障害や鉄道混雑への対策はどうなるのでしょうか。

そもそも、市は、鷺沼再開発計画について、再開発準備組合・東急との間で、長期にわたって協議・検討を重ねてきたはずですが、市は、完成したマンションの一室を購入する一般市民と同じ立場でないことは言うまでもありません。再開発の事業主体に名前を連ねてはいないものの、準備組合・東急と並んで、再開発の具体的計画の立案に深くかかわってきたのは間違いありません。

市民に、再開発の全体像を全く隠したまま、区役所等の移転決定を強行したことは、主権者である市民をないがしろにしたものとして、とうてい許されるものではありません。

こうした市民からの疑問や質問にお答えいただくと同時に、「鷺沼駅前再開発」の事業計画策定に深く関与し、かつ事業遂行を可能にする都市計画決定権者である川崎市の立場から「鷺沼駅前再開発」の事業内容について、早急に住民説明会を開催することを申し入れます。

なを、説明会開催日時のご連絡は10月31日までに、下記宛お願い申し上げます。

連絡先：宮前区役所・市民館・図書館の移転に反対し鷺沼駅前再開発を考える会

事務局長 猪俣 博 住所：川崎市宮前区平2-12-2-107 TEL 080-6758-4252